

郷土を知る
むかしむかし

昔々の そお市

第40回



遺跡あり？なし？

生涯学習課 文化財係 ☎ 0986-76-8873

埋

埋蔵文化財包蔵地。聞き慣れない言葉ですが、地中に遺跡が眠っている可能性が非常に高い地点のことを指します。

遺跡とは地球上に残る人類の活動の痕跡で、その中でも考古学研究的対象になったものや、文化財保護行政の対象となったものが遺跡となります。また遺跡と聞けば地中に埋まっているもので、発掘調査の姿を想像されると思いますが、これらは埋蔵文化財と呼ばれるもので、古墳や山城跡、貝塚といった地表に現れている遺跡も多くあります。

では埋まっている遺跡の場所がなぜ分かるのか？遺跡調査の第一歩として、分布調査という地図を片手に農地や山地市街地を歩き回るといったフィールドワークを行います。これは旧地形を確認しながら、耕作や自然現象により地表に表れた遺物を採集、その地点を記録する調査です。遺物を採集した場所の地下には遺跡が眠っている可能性があり、遺物が集中して見つかる場所は、遺跡の中心である可能性がさらに強くなります。そのほかにも地元の人に話を聞き、遺物の採集地点を教えるも

らったり、掘削などで偶然遺物が出土する場合もあります。

遺物が採集できた地点を地図上に記録し、周囲の地形や自然環境などを考慮したうえで、遺跡が眠っている可能性が極めて高い範囲を決定し埋蔵文化財包蔵地となります。

このような地道なローラー作戦で見つかった包蔵地は日本国内で現在約46万カ所あり、曾於市では約600カ所周知されています。市内は自然が豊かで旧地形がよく残っています。包蔵地は各町の中心やその周辺にやや集中している様子が見え、今も昔も住みよい場所を求める心はそこまで変化がないのでしょうか。

最後になりますが、包蔵地内で掘削工事などの開発を行う場合、文化財保護法にかかる手続きが必要になります。早めの連絡・相談をお願いします。



【市役所本庁周辺の埋蔵文化財包蔵地】

埋蔵文化財包蔵地を確認



鹿児島県立埋蔵文化財センターホームページの埋蔵文化財情報システムで遺跡分布地図を見ることができます。